

2024（令和 6）年度
事業報告書

（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで）

学校法人 関西外国語大学

目 次

I. 学校法人の概要

1. 建学の理念・精神	P 1
2. 沿革	P 3
3. 設置学校等	P 4
4. 法人・大学事務組織機構図	P 5
5. 役員および教職員に関する情報	P 6
6. 学部・学科等の入学定員、学生数の状況	P 7
7. 文部科学省経常費補助金交付額の推移	P 8

II. 事業の概要

1. 当該年度の主な事業計画およびその進捗状況	P 9
2. 教育研究の概要	P 16
3. 特色のある取組の概要	P 24
4. ガバナンス推進体制の強化	P 29

III. 財務の概要

1. 財産目録	P 34
2. 貸借対照表	P 35
3. 収支計算書	P 37
4. 財務比率の推移	P 39

(参考)

[2025 年 5 月 1 日現在]

学部・学科等の入学定員、学生数の状況	P 40
--------------------	------

I. 学校法人の概要

1. 建学の理念・精神

Mission【 建学の理念 】

「 国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材の育成 」

「 公正な世界観に基づき、時代と社会の要請に応えていく実学 」

本学の歴史は、第二次大戦が終結した直後の 1945（昭 20）年 11 月、大阪市東住吉区に創立された谷本英学院に始まる。

創立者は、戦後日本の復興と国際社会への復帰を「外国語教育」に託した。その思いは、国際人の育成と実学重視を謳う「建学の理念」に結実し、本学の過去、現在、未来をつなぐ行動原理となっている。

< 外大ビジョン・6つの柱 >

- 国際通用力を保証する言語教育の実践拠点
- 高度な専門職業人育成へのアプローチ
- 国際人にふさわしい人間力の涵養と、全人教育の推進
- 「キャンパスは“ちきゅう”」—— 学びのフィールドを広げ、深める
- 地域はパートナー —— 「グローカリズム」の実践
- 大学力の強化と充実 —— 力強い未来のために

< 関西外大人行動憲章 >

- | | |
|-------------|---|
| ・ 学の研鑽 | わたしたちは、専門の語学、言語はもとより、多様な学問分野において常に研鑽を積み、知識基盤社会の構築、発展に寄与します。 |
| ・ 国際人としての自覚 | わたしたちは、地球社会の一員であることを常に自覚し、異なる文化の尊重と共存、相互理解を推進します。 |
| ・ 国際貢献 | わたしたちは、国際社会の平和と安全、繁栄と共生に向け、地球規模の課題克服に取り組みます。 |
| ・ 人間力の涵養 | わたしたちは、個としての健全なる自我の確立とともに、社会的存在として全人的な資質の向上を図ります。 |
| ・ 地域参画 | わたしたちは、自らの知識や能力、ならびに大学の教育資源を生かし、拠って立つ地域の文化的、教育的発展に貢献します。 |

【 将来に向けてのビジョン 】

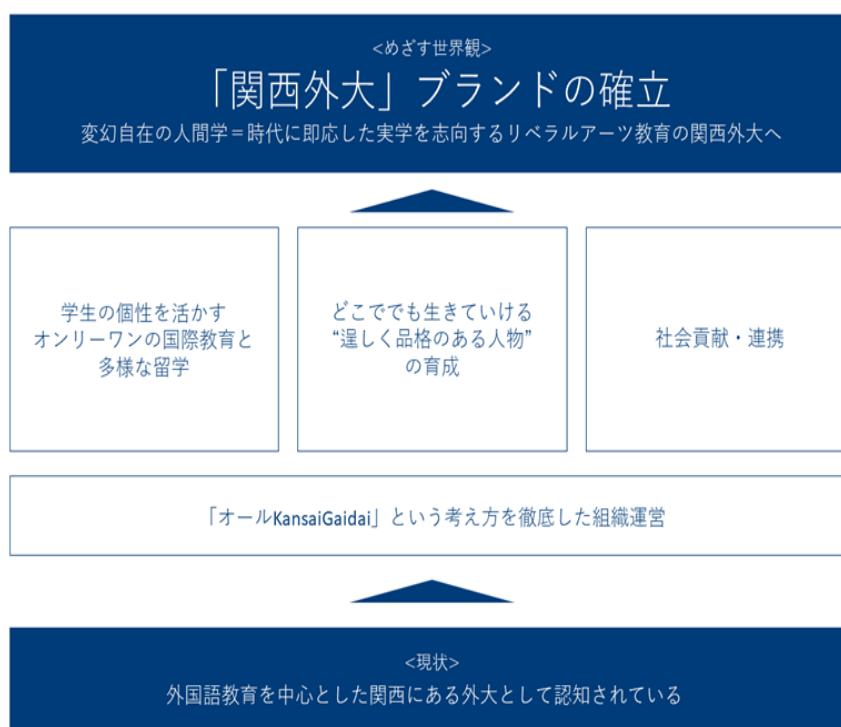
○ 関西外国語大学 ビジョン・中期計画 2019

■ ビ ジ ョ ン

1. KansaiGaidai University への進化
2. どこでも生きていける “ 逞しく品格ある人物 ” の育成
3. 学生の個性を活かすオンリーワンの国際教育と多様な留学
4. 「オール KansaiGaidai」 という考え方を徹底した組織運営
5. 社会貢献・連携

■ 基 本 戦 略

1. 新たな「KansaiGaidai University」の追求・共有・浸透からブランディングへ
2. 「変幻自在の人間学」＝「時代に即応した『実学』」プログラムの再構築
3. 入試面、教学面、就職面を全学一体で躍進させる
4. 留学プログラム体系をニーズにあわせて進化させる
5. 学生からの満足度が高い支援を推進する態勢
6. ICT、AI の活用により教育研究環境の整備、事務部門業務の効率化を推進する
7. 時代の変化に応じて、新たな学部・学科等設置に取り組む
8. 広く社会に貢献する



2. 沿 革

1945(昭 20)年	谷本英学院創設
1947(昭 22)年	関西外国語学校設置
1953(昭 28)年	関西外国語短期大学設置 設置者 学校法人万代学園(大阪府大阪市住吉区万代3丁目6の34)
1960(昭 35)年	短期大学米英語科第二部設置
1963(昭 38)年	学校法人関西外国語学園に法人名称変更
1966(昭 41)年	関西外国語大学外国語学部設置 法人本部位置変更(大阪府枚方市小倉 333)
1972(昭 47)年	国際文化研究所設置
1973(昭 48)年	関西外国語大学大学院外国語学研究科(修士課程)設置
1975(昭 50)年	短期大学第二米英語学科第一部設置
1976(昭 51)年	留学生別科設置 関西外国語大学大学院外国語学研究科(修士課程)言語文化専攻増設
1977(昭 52)年	関西外大ハワイ校を開設
1979(昭 54)年	関西外国語大学大学院外国語学研究科(博士課程後期)設置
1980(昭 55)年	関西外大ハワイカレッジ開校
1984(昭 59)年	短期大学第二米英語学科の位置変更、穂谷学舎開く
1986(昭 61)年	関西外大ニューイアラ整備計画発足
1992(平 4)年	学校法人関西外国語大学に法人名称変更 関西外国語短期大学を関西外国語大学短期大学部に名称変更 短期大学部学科名称変更 米英語学科を英米語学科へ 第二米英語学科第一部を米英語学科第一部へ 第二米英語学科第二部を米英語学科第二部へ
1994(平 6)年	人権教育思想研究所設置
1996(平 8)年	国際言語学部国際言語コミュニケーション学科設置
1998(平 10)年	関西外大ハワイカレッジをトランスパシフィック・ハワイカレッジに名称変更
1999(平 11)年	短期大学部英米語学科昼夜開講制導入 米英語学科第二部を募集停止
2000(平 12)年	短期大学部米英語学科を国際コミュニケーション学科に名称変更
2002(平 14)年	中宮学舎開く。法人事務所所在地、大学、短期大学部、大学院の位置変更 (大阪府枚方市中宮東之町 16 番 1 号)
2003(平 15)年	教職英語教育センター設置
2005(平 17)年	短期大学部英米語学科夜間主コースの学生募集停止
2006(平 18)年	中国交流センター設置 (2010 年に廃止)
2007(平 19)年	谷本貞人学長が退任し、谷本義高大学学長・谷本榮子短期大学部学長が就任
2008(平 20)年	短期大学部国際コミュニケーション学科を募集停止 谷本貞人理事長が退任し、谷本榮子理事長が就任 トランスパシフィック・ハワイカレッジ閉校
2009(平 21)年	中長期ビジョン「関西外大ルネサンス 2009」を策定 関西外国語大学孔子学院設立
2010(平 22)年	短期大学部国際コミュニケーション学科廃止 アジア・太平洋交流センターを設置 (中国交流センターを廃止・統合) イベロアメリカ研究センターを設置
2011(平 23)年	英語キャリア学部英語キャリア学科設置

2013(平 25)年	英語キャリア学部英語キャリア学科に「小学校教員コース」設置 穂谷キャンパスを「学研都市キャンパス」に名称変更 アジア・太平洋交流センターを廃止（国際交流部に業務移管）
2014(平 26)年	英語国際学部を設置（国際言語学部の改組転換） 国際言語学部の学生募集停止
2015(平 27)年	70 周年記念事業の一環として御殿山キャンパス・グローバルタウン用地取得
2018(平 30)年	3 月、御殿山キャンパス・グローバルタウン竣工 英語国際学部移転 4 月、御殿山キャンパス・グローバルタウン開学
2019(平 31)年	3 月、国際言語学部廃止
2019(平 31)年	4 月、「関西外国語大学ビジョン・中期計画」を策定
2020(令 2)年	4 月、大庭幸男大学学長が就任
2021(令 3)年	4 月、谷本榮子理事長が総長に就任 谷本和子短期大学部学長が就任
2023(令 5)年	4 月、国際共生学部国際共生学科、外国語学部英語・デジタルコミュニケーション学科を設置
2023(令 5)年	4 月、アジアセンターを設置
2024(令 6)年	4 月、外国語学部国際日本学科、短期大学部に未来キャリア英語学科を設置
2025(令 7)年	4 月、英語国際学部アジア共創学科設置 菊池清明大学学長が就任、 谷本和子短期大学部学長が就任（重任）

3. 設置学校等

(2025 年 4 月 1 日現在)

【 学校法人 関西外国語大学 】

○ 理事長・総長 谷本 榮子

【 設置校 】

○ 関西外国語大学（外国語学部、英語国際学部、英語キャリア学部、国際共生学部、
大学院、留学生別科）

所在地 大阪府枚方市中宮東之町 16 番 1 号

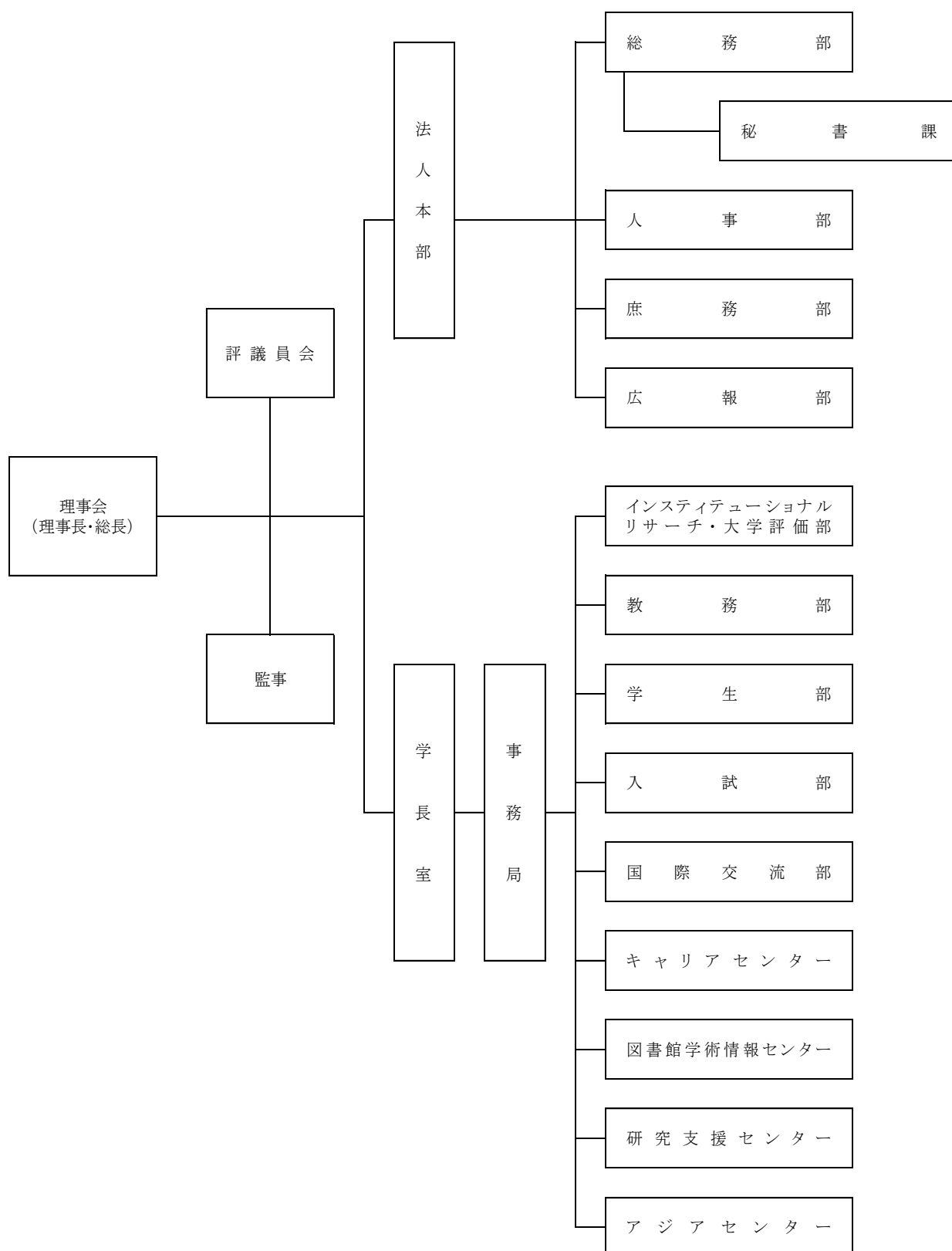
学長 菊池 清明

○ 関西外国語大学短期大学部（英米語学科、未来キャリア英語学科）

所在地 大阪府枚方市中宮東之町 16 番 1 号

学長 谷本 和子

4. 法人・大学事務組織機構図



5. 役員および教職員に関する情報

(1) 役員（理事定員 7～8 名／現員 8 名。 監事定員 2 名／現員 2 名） (2025 年 5 月 24 日就任)

	職名または担当 職	氏 名	常勤・ 非常勤		職名または担当 職	氏 名	常勤・ 非常勤
理事長		谷本 榮子	常勤	理事	業務執行補佐	遠藤 幸治	常勤
副理事長	短大学長 (業務執行理事)	谷本 和子	常勤	理事 (外部理事)		菅野 和夫	非常勤
理事	大学学長	菊池 清明	常勤	理事 (外部理事)		清水 一彦	非常勤
理事	法人担当	小畠 典明	常勤	監事		松井 哲二	常勤
理事	教学担当	神田 修悦	常勤	監事 (外部監事)		坂元 正治	非常勤

(2) 評議員一覧 (定員 9 名 現員 9 名) (2025 年 5 月 24 日就任)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
玉井 久之	山本 徹也	矢野 義人	新庄 哲三	春田 薫	長井 渡
川原 俊明	草野 功一	古川 國久			

(3) 教職員数（単位：人） (2024 年 5 月 1 日現在)

(1) 教 員	専 任								非常勤		合 計	
	教 授		准教授		助 教		講 師			内 女性		内 女性
		内 女性		内 女性		内 女性		内 女性				
大学	119 (21)	29 (5)	85 (24)	47 (13)	12 (5)	6 (4)	51 (37)	27 (19)	199 (65)	111 (21)	466 (152)	220 (62)
短期大学部	23 (0)	8 (0)	12 (3)	3 (2)	2 (1)	1 (1)	11 (4)	5 (0)	39 (7)	28 (1)	87 (15)	45 (4)
計	142 (21)	37 (5)	97 (27)	50 (15)	14 (6)	7 (5)	62 (41)	32 (19)	238 (72)	139 (22)	553 (167)	265 (66)

(注) () は外国人教員内数

(2) 職 員	専 任		非常勤		合 計	
		内 女性		内 女性		内 女性
大学	140	68	30	21	170	89
短期大学部	25	10	5	4	30	14
計	165	78	35	25	200	103

(3) 教職員 〔(1)+(2)〕	専 任		非常勤		合 計	
		内 女性		内 女性		内 女性
合 計	480	204	273	164	753	368

6. 学部・学科等の入学定員、学生数の状況

(2024年5月1日現在)

				入学定員	3 年 次 編入定員	収容定員 (a)	在籍者数 (b)	収容 定員比 (b/a)
大 学	大学院外国語学 研究科	博 士 前 期 課 程	英 語 学 専 攻	15	—	30	9	0.30
			言語文化専攻	20	—	40	27	0.67
		博 士 後 期 課 程	英 語 学 専 攻	3	—	9	2	0.22
			言語文化専攻	3	—	9	4	0.44
		大学院 計			41	—	88	42
	外国語学部	英 米 語 学 科		730	200	4,435	4,732	1.06
		スペイン語学科		250	20	1,045	1,049	1.00
		英語・デジタルコミュニ ケーション学科		200	—	400	444	1.11
		国 際 日 本 学 科		200	—	200	220	1.10
		計		1,380	220	6,080	6,445	1.06
	英語国際学部 英語国際学科			700	75	2,975	3,137	1.05
	英語キャ リア学部	英語キャリア学科		120	—	480	502	1.04
		英語キャリア学科 小学校教員コース		50	—	160	129	0.80
		計		170	—	640	631	0.98
	国際共生学部 国際共生学科			70	30	200	167	0.83
	学 部 計			2,320	325	9,895	10,380	1.04
	大 学 合 計			2,361	325	9,983	10,422	1.04
	留 学 生 別 科			400	—	400	437	1.09
短期 大学 部	英 米 語 学 科		550	—	1,350	1,011	0.74	
	未来キャリア英語学科		150	—	150	106	0.70	
	短 大 合 計		700	—	1,500	1,117	0.74	
総 合 計				3,461	325	11,883	11,976	1.00

7. 文部科学省経常費補助金交付額の推移

(単位：千円)

	一般補助金			特別補助金			経常費補助金合計		
	大学	短大	合計	大学	短大	合計	大学	短大	合計
2013(平25)年度	307,080	100,147	407,227	95,760	17,567	113,327	402,840	117,714	520,554
2014(平26)年度	298,030	68,712	366,742	96,083	34,139	130,222	394,113	102,851	496,964
2015(平27)年度	271,625	80,897	352,522	103,287	41,915	145,202	374,912	122,812	497,724
2016(平28)年度	295,397	90,002	385,399	97,369	39,024	136,393	392,766	129,026	521,792
2017(平29)年度	312,874	73,416	386,290	126,458	47,750	174,208	439,332	121,166	560,498
2018(平30)年度	482,504	90,647	573,151	100,322	35,548	135,870	582,826	126,195	709,021
2019(令1)年度	523,539	90,899	614,438	80,680	7,000	87,680	604,219	97,899	702,118
2020(令2)年度	469,862	98,453	568,315	30,802	2,350	33,152	500,664	100,803	601,467
2021(令3)年度	647,540	132,972	780,512	39,683	9,030	48,713	687,223	142,002	829,225
2022(令4)年度	589,042	128,036	717,078	42,214	1,710	43,924	631,256	129,746	761,002
2023(令5)年度	633,344	76,744	710,088	46,356	4,424	50,780	679,700	81,168	760,868
2024(令6)年度	630,382	90,583	720,965	42,824	4,328	47,152	673,206	94,911	768,117

Ⅱ. 事業の概要

1. 当該年度の主な事業計画および進捗状況

(1) 学部・学科の再編

■2024 年 4 月開設の新学科の円滑な運営

●当初計画

外国語学部 国際日本学科・短期大学部 未来キャリア英語学科の開設と円滑な運営

☞進捗・結果

国際日本学科については順調に学生を受入れ。登録日本語教員養成課程の開設に加え、国語の中・高一種免許の教職課程認定を取得。未来キャリア英語学科の入学定員見直しを実施。

■2025 年 4 月開設予定の新学科設置準備

●当初計画

英語国際学部 アジア共創学科の開設準備

☞進捗・結果

関係教員と事務局が協働し、教学関連や留学などの制度整備。新入生の受入れなどの準備を進め滞りなく完了。登録日本語教員養成課程を新規開設。



(2) 教育の質の向上

■学修者本位の教育の質向上

●当初計画

外国語学部英米語学科を中心に、細分化された学科の教育の質向上・充実

☞進捗・結果

2024 年度は、「学びの手引き」の授業内での活用や言語運用能力の達成プログラムの構築・実施など各学科の教育の質向上・充実を図るための基盤を整備。

●当初計画

実践科目の開設や指導体制の強化などを目的とした教育課程の見直し

☞進捗・結果

外国語学部の英米語学科とスペイン語学科、英語国際学部の英語国際学科において、2026 年度新生より適用する新カリキュラムについて、委員会等で審議を行い確定。

●当初計画

学生が「何を学び、何を身につけることができたか」という学修成果の可視化・明確化。

⇒進捗・結果

2024 年度秋学期の履修登録時に学修成果に関するアンケートを全学的に実施。実質的な定着に向け、毎学期の Web 履修登録画面に学修成果レーダーチャートを表示。

●当初計画

DX による効果的で質の高い学修の実現

⇒進捗・結果

情報化戦略・推進会議において、教育学習支援のDXの積極的な活用の推進を含めた今後の大学全体のDX化の根幹となる「関西外国語大学情報化推進戦略 2025」を策定。

■大学院の活性化

●当初計画

教育内容の改善と、時代に対応できる態勢の構築

⇒進捗・結果

教育内容の改善を図るため、大学院運営委員会を中心にカリキュラムの見直しを実施。2025 年度新入生より新カリキュラムを適用することを決定。

●当初計画

中国を中心とした、博士前期課程のダブルディグリー留学生の受入れ

⇒進捗・結果

中国 3 大学とダブルディグリー留学の協定を締結し、2024 年 9 月より 1 名の学生を受入れ。

●当初計画

5 年間で学士号と修士号を取得できるプログラム実施

⇒進捗・結果

主に学部 3 年次生を対象にプログラムの説明会を実施、2025 年度より運用開始を決定。

■質の高い教員の確保・育成

●当初計画

新学科開設および設置計画に伴う教員組織の編制、教育研究体制の充実等の取組

⇒進捗・結果

英語・デジタルコミュニケーション学科に教員 1 人採用/米国大学(UCLA)より教育水準の国際通用性向上に資する教員 2 人招致。アジア共創学科の専任確保のため既存教員 16 人の転籍・任用変更実施。

●当初計画

国際化に対応した組織づくりと教育研究環境の向上

⇒進捗・結果

大学院にオール英語で教授・指導可能な教員 5 人を配置。アジアセンター職員を海外出派遣し職員の国際化を推進。11 月に文部科学省より登録日本語教員養成機関として登録。

●当初計画

質の高い国語教員養成を目的とした、国語（中高一種免許）教職課程の開設

⇒進捗・結果

文部科学省より外国語学部国際日本学科への国語（中高一種免許）の教職課程認定を取得。

(3) 多様化する入試への対応

■入試制度改革の推進

●当初計画

多様で優秀な学生確保のための入試制度改革の推進

☞進捗・結果

2026 年度入試：一般入試〔前期日程〕に地歴科目を活用した B 方式を設定。日程を 1 月下旬に変更。

●当初計画

入試日程の追加・変更、オープンキャンパス日程の見直し

☞進捗・結果

2025 年度入試：公募制推薦入試〔後期日程〕の追加、一般入試 S 方式の日程変更。
オープンキャンパスの日程変更。来場者数：12,692 人⇒18,304 人（前年比 142%）。

●当初計画

公開講座を活用した効果的な入試広報戦略の展開

☞進捗・結果

公開講座「入試対策講座」をオープンキャンパスで実施。外部業者作成の高校評価および本学への入学者数等を勘案した独自ランク分けを実施。

(4) 国際交流改革の推進

■国際交流プログラムのさらなる進化

●当初計画

社会と学生のニーズに即した、特徴的な留学プログラムの構築・運営

☞進捗・結果

USCPA（米国公認会計士）やデジタル分野の学び、日本語教員養成に関連した留学など、学生や社会のニーズに対応した新規留学プログラムを開発。

●当初計画

キャリアを見据えた実践型留学の拡充と出口戦略の遂行（キャリアセンターとの協働）

☞進捗・結果

〔長期留学〕キャリアセンターとの連携、コンピテンシー自己評価導入

〔短期留学〕日系企業訪問含む海外研修新設等



■国際教育関連事業に係る費用の効果的使用

●当初計画

費用対効果を見定めた留学プログラム実現のための選考・資格審査の見直し

⇒進捗・結果

2025 年度募集より 2 カ年以上の留学を中心に、英語力の基準をさらに厳格化。より高い学修成果を収めた学生に対し、留学奨学金を支給する仕組みを構築。

(5) 学生生活支援体制の整備

■学生ファーストの視点に立った修学支援の実行

●当初計画

外大生応援プロジェクト推進（「Happy Monday LUNCH」、「食糧支援」等）

⇒進捗・結果

学生支援が目的の「Happy Monday LUNCH」は定着、延 5.5 万人超の学生が利用し好評。



■特技入試制度およびクラブ活動支援策等の見直し

●当初計画

特技入試制度の改正による才能に秀でた意欲ある学生の受入れ促進

⇒進捗・結果

特技入試の区分と対象クラブ見直しを実施。特技 A 区分を対象とした奨学金について、団体競技の選考要領を中心に見直しを行い、次年度に向けて更なる制度の充実を図った。

●当初計画

「スポーツ活動振興奨学金」による課外活動の活性化

⇒進捗・結果

新設されたスポーツ活動振興奨学金の選考を行い、2025 年度入学生から 7 クラブ 9 名を奨学生として採用。また、2024 年度に優れた実績を残した 5 団体と 12 名にも奨学金を給付。

(6) 就職支援強化による出口保証

■実就職率の向上および安定した支援スキームの確立

●当初計画

低学年からのキャリア形成支援の拡充と各種就職支援策の質向上

⇒進捗・結果

2024 年度に 3 科目、2025 年度に 2 科目と順次追加導入。授業の質担保を目的とし、キャリアセンター委員会独自の評価項目も策定し運用スタート。

●当初計画

大学や学部学科の特色を活かした出口ブランドの確立

⇒進捗・結果

グローバルキャリア出口ブランドとしてグローバル企業群、グローバル企業強化群を定義、8つの支援を策定、6つは既に稼働開始。2つに関しても2025年前半稼働予定。

●当初計画

データ活用による未内定層の早期発掘と個別支援の拡充

⇒進捗・結果

就職情報会社や斡旋会社とデータ連携し進捗モニタリングを開始。就職準備不足層や未内定者層の早期発見が可能になり、よりスピーディーできめ細かい支援を実現。

■社会が求める人材育成のためのキャリア教育の推進支援の推進

●当初計画

企業が求める知識・スキルを持った人材マッチングに向けたキャリア・就職支援の開発

⇒進捗・結果

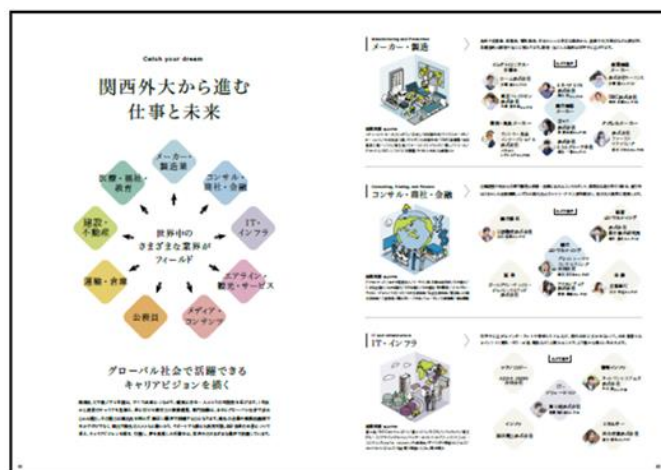
学部1年生を対象に社会人基礎力測定を2025年春学期に導入。自己の基礎力の強みを自覚化しマッチング向上を図った。

●当初計画

A I・データサイエンス等の知識を活用できる人材育成のためのキャリアプログラム開発

⇒進捗・結果

2025年春、学部3年生を対象に総合科目A「社会産業各論」を新設。民間企業で実務経験のある教員でスタート。資格サポート室と連携し、ITスキル獲得講座ラインナップを拡充。



■質の高いインターンシップを核としたキャリア形成支援

●当初計画

新学科の特性に応じたインターンシップ先の開発

⇒進捗・結果

グローバル(アジア)就業体験を新規開設。グローバルに展開する企業3社と協働し、2025年夏から開始。

●当初計画

留学生に対するグローバルインターンシップの充実と就職支援

⇒進捗・結果

海外留学生向けにグローバルインターンシップを6～8月に実施。国内の企業・学校・機関計36団体に、参加学生58名を派遣(昨年39団体・参加留学生67名)。

(7) 戦略的広報の展開

■大学の魅力を伝える広報の企画・立案・実施

●当初計画

オンライン活用等による時代に即した広報戦略

⇒進捗・結果

インスタグラム・LINE および YouTube などの SNS 媒体を利用した広報活動（高校生向け「FIND」等、各種媒体を活用した大学広報・入試広報の展開）実施。

(8) 情報システムの大規模改修と DX の推進による業務改革

■基幹システムの再構築

●当初計画

拡張性、汎用性の高いシステムの再構築

⇒進捗・結果

情報システム改修プロジェクトにおいて、2024 年 9 月に教学システムおよび入試システムのベンダを選定。2024 年 11 月～2025 年 9 月に要件定義フェーズを実施。

●当初計画

WG 主導による学内体制の見直し（業務知識／システム知識を有した統括体制構築）

⇒進捗・結果

情報システム改修プロジェクトの要件定義フェーズにおいて、新システムで必要となるシステム運用関連業務に対し、2025 年 9 月までに、学内体制の見直しを実施予定。

■「情報化推進戦略 2025」の策定

●当初計画

「情報化推進戦略 2025」を策定し、DX の推進を通じた創造的かつ持続可能な教育・研究機関への進化を図るとともに、次世代の大学運営を支える強固な情報環境を整備する。

⇒進捗・結果

4 つの重点分野（情報基盤の整備、教育支援・学習環境の整備、大学運営環境等の整備、研究活動の支援）を基軸として、今後 5 年間（2025-2029 年度）にわたり、本学が取り組むべき情報化戦略の方向性を明示。



(9) 強固な組織構築によるガバナンス強化

■健全かつ強固な財務体質の構築

●当初計画

将来を見据えた「投資」への意識改革と、「強固な財務体質」の構築に基づく有効な予算執行

⇒進捗・結果

インターナショナルスクールの誘致や、基幹情報システムの大規模改修等、将来を見据えた「戦略的投資」を推進。(2025年度予算計上)。

(10) 自己点検・評価

■認証評価受審後の改善に向けた全学的な取組

●当初計画

2019年度認証評価結果における指摘（改善課題）への取組

⇒進捗・結果

3つの課題に対応した2024年度に実施計画は、実施済。

●当初計画

2026年度認証評価への準備・対応

⇒進捗・結果

2026年度認証評価受審のための2024年度の課題は、実施済。

(11) 校地・校舎の整備

■学研都市キャンパスの活用

●当初計画

キャンパスの有効活用と併せ、グローバル人材育成を目的としたプログラムの開発・推進

⇒進捗・結果

国際教育機関と協力し、世界で活躍するグローバル人材育成と本学ブランドの価値向上目的とした「共同プログラム」に関し推進中。



(12) 社会貢献・連携

■地域自治体・地域コミュニティとの連携

●当初計画

産・学・官連携による地域自治体をはじめとした多様なコミュニティとの連携強化

⇒進捗・結果

学園都市ひらかた推進協議会および枚方市教育委員会との共同事業を実施するとともに、駅伝部による中高生向け指導等、地域コミュニティとの連携に努めている。

2. 教育研究の概要

(1) 教育研究上の基本となる組織に関する情報

(2024年5月1日現在)

○ 学部・学科、研究科・専攻ごとの名称

大 学 等	学部・研究科等	学 科 等	課程等
関西外国語大学	外国語学部	英米語学科	
		スペイン語学科	
		英語・デジタルコミュニケーション学科	
		国際日本学科	
	英語国際学部	英語国際学科	
	英語キャリア学部	英語キャリア学科	
		英語キャリア学科小学校教員コース	
	国際共生学部	国際共生学科	
	外国語学研究科	英語学専攻	博士課程(前期・後期)
		言語文化専攻	博士課程(前期・後期)
関西外国語大学 短期大学部	英米語学科		
	未来キャリア英語学科		

(2) 教員組織および教員数に関する情報

(2024年5月1日現在)

○ 教員組織および教員数

		専 任										非常勤		合 計	
		内 女性		教 授		准教授		助 教		講 師					
				内 女性						内 女性					
大 学	学長	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	外国語学部	172	71	75	18	55	31	10	5	32	17	136	77	308	148
	英語国際学部	45	17	21	3	19	12	2	1	3	1	53	27	98	44
	英語キャリア学部	30	13	13	4	8	4	0	0	9	5	3	1	33	14
	国際共生学部	16	7	7	3	3	0	0	0	6	4	0	0	16	7
	研究所等	3	1	2	1	0	0	0	0	1	0	6	5	9	6
	大学計	267	109	119	29	85	47	12	6	51	27	198	110	465	219
	大学院・外国語学 研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
短 期 大 学 部	学長	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	英米語学科	38	14	19	6	10	3	2	1	7	4	33	22	71	36
	未来キャリア英語学 科	9	2	3	1	2	0	0	0	4	1	6	6	15	8
	短大計	48	17	23	8	12	3	2	1	11	5	39	28	87	45
合 計		315	126	142	37	97	50	14	7	62	32	238	139	553	265

■設置基準で求められる「専任教員数」に対し、大学は1.4倍、短大は2.2倍の教員が在籍している。

(3) 学生に関する情報

(2025 年 5 月 1 日現在)

○ 入学試験および入学者の状況 (2025 年度入学試験)

学 部	学 科	入学定員	志願者数	受験者数	合格者	入学者数
外国語学部	英米語学科	730 人	6,105 人	5,993 人	2,205 人	773 人
	スペイン語学科	250 人	2,064 人	2,038 人	1,202 人	302 人
	英語・デジタル コミュニケーション学科	200 人	1,711 人	1,682 人	1,073 人	265 人
	国際日本学科	200 人	1,766 人	1,741 人	1,009 人	226 人
英語国際学部	英語国際学科	500 人	3,971 人	3,917 人	1,988 人	620 人
	アジア共創学科	200 人	2,007 人	1,993 人	737 人	212 人
英語キャリア学部	英語キャリア学科	120 人	1,968 人	1,935 人	665 人	154 人
	英語キャリア学科 小学校教員コース	50 人	453 人	446 人	291 人	54 人
国際共生学部	国際共生学科	70 人	1,206 人	1,173 人	362 人	88 人
計		2,320 人	21,251 人	20,918 人	9,532 人	2,694 人

【3 年次編入学】

学 部	学 科	入学定員	志願者数	受験者数	合格者	入学者数
外国語学部	英米語学科	200 人	269 人	265 人	212 人	205 人
	スペイン語学科	20 人	8 人	8 人	7 人	7 人
英語国際学部	英語国際学科	75 人	78 人	78 人	68 人	63 人
国際共生学部	国際共生学科	30 人	4 人	4 人	4 人	4 人
計		325 人	359 人	355 人	291 人	279 人

【短期大学部】

学 部	学 科	入学定員	志願者数	受験者数	合格者	入学者数
短期大学部	英米語学科	500 人	1,041 人	1,032 人	1,008 人	641 人
	未来キャリア英語学科	100 人	531 人	524 人	506 人	88 人
計		600 人	1,572 人	1,556 人	1,514 人	729 人

【大学院】

課 程	専 攻	入学定員	志願者数	受験者数	合格者	入学者数
博士前期課程	英語学専攻	15 人	4 人	4 人	4 人	4 人
	言語文化専攻	20 人	19 人	16 人	10 人	9 人
博士後期課程	英語学専攻	3 人	1 人	1 人	1 人	1 人
	言語文化専攻	3 人	1 人	1 人	0 人	0 人
計		41 人	25 人	22 人	15 人	14 人

※ 学部、研究科等における人材養成目的およびアドミッション・ポリシー（入学受入れ方針）は、本学ホームページに掲載している。

<https://www.kansaiaidai.ac.jp/info/disclosure>

(4) 就職に関する情報

○ 就職状況 (2023 年度卒業者)

(2024 年 5 月 1 日現在)

学 部	学 科	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率
外国語学部	英米語学科	1,362 人	1,155 人	1,129 人	97.7%
	スペイン語学科	239 人	196 人	195 人	99.5%
英語国際学部	英語国際学科	757 人	641 人	624 人	97.3%
英語キャリア学部	英語キャリア学科	106 人	91 人	90 人	98.9%
	英語キャリア学科 小学校教員コース	24 人	22 人	22 人	100.0%
大 学 計		2,488 人	2,105 人	2,060 人	97.9%
短期大学部 *	英米語学科	534 人	147 人	139 人	94.6%

*短期大学部の非就職者数 387 人の内訳(進学者 286 人、その他 101 人(ワーキングホリデー、受験準備など))

【分野別 卒業生の就職実績 (2021～2023 年度)】

・教育：199 人、商社関係：667 人、航空関連：400 人、ホテル業：545 人

【 就職者の主な就職分野・就職先等 】

学部学生
【卸・小売業】 阪和興業、岩谷産業、日鉄物産、大塚商会、三井食品、日伝、リョーサン、Apple Japan、ニトリ、ファーストリテイリング、良品計画、アシックスジャパン、アマゾンジャパン、アダストリア等
【サービス業】 帝国ホテル、ニューオータニ、ロイヤルホテル、星野リゾート、Plan Do See、テイクアンドグヴィ・ニーズ、JTB、HIS、KPMG FAS、デロイトトーマツ、アクセンチュア、船井総合研究所等
【製造業】 キーエンス、ミネベアミツミ、三菱電機、富士電機、TOTO、アシックス、DMG 森精機、アイリスオーヤマ、セイコーエプソン、TDK、ニプロ、伊藤園、キューピー、カプコン、アストラゼネカ等
【運輸・倉庫業】 全日本空輸、日本航空、スカイマーク、Peach Aviation、エミレーツ、JAL スカイ、ANA 関西空港、日本通運、ロジスティード、三井倉庫、郵船ロジスティックス、西日本旅客鉄道等
【金融・保険業】 三井住友銀行、みずほ銀行、りそな銀行、京都銀行、野村證券、大和証券、SMBC 日興証券、みずほ証券、三井住友ファイナンス&リース、日本生命、第一生命、明治安田生命、住友生命等
【教員・教育業】 各都道府県教員(高等学校・中学校・小学校)、関西外大、京都大学、近畿大学、滋慶学園、ECC 等

【公務員】 国家公務員（国税局・税関等）、地方公務員（東京、大阪、京都等）、警察官、消防士等
【その他】 大和ハウス工業、積水ハウス、富士通、インターネットイニシアチブ、NEC ネットエスアイ、Sky、日立システムズ、NTT データ関西、リクルート、ディップ、マイナビ、ドワンゴ等
短期大学部学生
【卸・小売業】 ストライプインターナショナル、東洋サクセス、江綿、ココカラファインヘルスケア、前田珈琲等
【サービス業】 帝国ホテル、ヒルトングループ、阪急阪神ホテルズ、近鉄・都ホテルズ、ロイヤルホテル、西武・プリンスホテルズワールドワイド、リゾートトラスト、ベストブライダル、名鉄観光サービス等
【製造業】 京セラ、ヤクルト本社、東洋紡、ワコール、ハチ食品、リンテック等
【その他】 日本通運、ANA 関西空港、K スカイ、岡三証券、総合警備保障、各都道府県教員、地方公務員等

【短期大学部編入学】

- 短期大学部 2024 年度（2025 年入学）編入学合格者状況 （2025 年 3 月 31 日現在）
- ① 本学 3 年次編入学合格者数 230 人
- ② 他大学編入学合格者数 16 人

(5) 教育課程に関する情報

各学部・学科等とも、当該学科のビジョン（人材養成目的、学科の特色など）、教育目標、カリキュラムの特色、カリキュラムの内容をはじめ、授業科目、授業の方法および内容ならびに年間授業計画など教育課程に関する情報は、本学のホームページに掲載している。

※ 各学部・学科などのビジョン

<https://www.kansaiaidai.ac.jp/academics/>

※ シラバス

<https://rapport2.kansaiaidai.ac.jp/syllabus/GUSW1000Login.do>

(6) 学修の成果に係る評価および卒業の認定に当たっての基準に関する情報

各学部・学科等の学修の成果にかかる評価（成績評価）および卒業の認定にあたっての基準（卒業・修了の要件ならびに学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に関する情報は、本学のホームページに掲載している。

<https://www.kansaiaidai.ac.jp/info/disclosure/>

大 学 の 名 称	関西外国語大学					
学部等の名称	修 業 年 限	必要修得 単 位 数	科目区分ごとの修得単位数			学位または名称
			必修	選択	自由	
外国語学部	年	単位	単位	単位	単位	
英米語学科	4	124	40	84		学士(英語学)
スペイン語学科	4	124	44	80		学士(スペイン語学)
英語・デジタルコミュニケーション学科	4	124	40	84		学士(英語学)
国際日本学科	4	124	44	80		学士（国際日本）
英語国際学部						
英語国際学科	4	124	40	84		学士(英語国際)
アジア共創学科	4	124	48	76		学士（アジア共創）
英語キャリア学部						
英語キャリア学科	4	124	76	48		学士(英語キャリア)
英語キャリア学科小学校教員コース	4	124	108	16		学士(教育)
国際共生学部						
国際共生学科	4	124	52	72		学士(国際共生)
大学院外国語学研究科						
博士前期課程						
英語学専攻	2	34	12	22		修士(英語学) 他
言語文化専攻	2	34	12	22		修士(言語文化)他
博士後期課程						
英語学専攻	3	16	8	8		博士(英語学) 他
言語文化専攻	3	16	8	8		博士(言語文化)他
大 学 の 名 称	関西外国語大学短期大学部					
学部等の名称	修 業 年 限	必要修得 単 位 数	科目区分ごとの修得単位数			学位または名称
			必修	選択	自由	
英米語学科	年	単位	単位	単位	単位	
英米語学科	2	64	36	28		短期大学士（英語学）
未来キャリア英語学科	2	64	30	34		短期大学士(キャリア英語)

(7) 学習環境に関する情報

(2025 年 5 月 1 日現在)

大学等	キャンパス	学部・研究科	所在地	主な交通手段	
関西外国語大学	中宮 キャンパス (含、片鉾)	外国語学部・英語キャリア学部・国際共生学部・大学院	大阪府枚方市中宮東之町 16 番 1 号	京阪電鉄枚方市駅からバスで 8 分	
		【 キャンパスの概要 】 ① 校地面積：241,520.91 m ² 、校舎面積：124,078.33 m ² ② 本館、谷本記念講堂、図書館学術情報センター、国際交流センター、教室棟 1～2 号館・7 号館、厚生北館、厚生南館、第 2～4 国際交流セミナーハウス、I C C			
		【 運動施設の概要 】 ① 運動場面積：61,827.64 m ² (第 1～3 グラウンド他) 10,137.44 m ² (陸上競技場) ② 中宮体育館・クラブ館、第 1～3 グラウンド、陸上競技場、片鉾総合体育館、中宮テニスコート、片鉾テニスコート、アーチェリー場			
	【 課外活動の状況 】 (2025 年 3 月 31 日現在) クラブ数：体育系 26、文化系 28、独立団体 2 の計 56 団体。 サークル数は体育系 14、文化系 10 の計 24 団体。				
	御殿山キャンパス・グローバルタウン	英語国際学部	大阪府枚方市御殿山南町 6 番 1 号	京阪電鉄枚方市駅からバスで 5 分	
【 キャンパスの概要 】 ① 校地面積：50,285.83 m ² 、校舎面積：52,658.49 m ² ② ACADEMIC COMMONS (教室棟)、OFFICE(事務所棟)、CAFETERIA (学生食堂)、LEARNING COMMONS (図書館)、GLOBAL COMMONS 結- YUI- (国際交流セミナーハウス)、CAFÉ COMMONS (カフェ・学生食堂・コンビニ)、TANIMOTO HALL (講堂)					
学研都市 キャンパス (閉鎖中)		御殿山キャンパス・グローバルタウンに英語国際学部を移転	大阪府枚方市穂谷 1 丁目 10 番 1 号	JR 学研都市線津田駅からバスで 15 分	
	【 キャンパスの概要 】 ① 校地面積：121,122.35 m ² 、校舎面積：39,101.92 m ² ② 本部棟、図書館学術情報センター、A 教室棟、C 教室棟、研究室棟、厚生棟、コミュニティーセンター、講堂、第 1、2 国際交流セミナーハウス				
	【 運動施設の概要 】 ① 運動場面積：22,673.03 m ² ②体育館、テニスコート				
関西外国語大学 短期大学部	中宮 キャンパス (含、片鉾)	英米語学科未来キャリア英語学科	大阪府枚方市中宮東之町 16 番 1 号	京阪電鉄枚方市駅からバスで 8 分	
		【 キャンパスおよび運動施設の概要 】 関西外国語大学・中宮キャンパスと同様			
	【 課外活動の状況 】 関西外国語大学・中宮キャンパスと同様 (2025 年 3 月 31 日現在)				

校地校舎面積〔設置基準値比〕

(㎡)

		中宮キャンパス (含む片鉾キャンパス)		御殿山キャンパス ・グローバルタウン		学研都市キャンパス		合 計	
校 地	総面積	241,520.91		50,285.83		121,122.35		412,929.09	
	基準該当面積	232,787.69	基準 81,650.00 285.10%	45,830.66	基準 29,500.00 553.52%	117,457.67		396,076.02	基準 111,150.00 356.34%
校 舎	総面積	124,078.33		52,658.49		39,101.92		215,838.74	
	基準該当面積	78,165.83	基準 35,128.18 222.52%	27,716.84	基準 12,063.75 435.23%	24,787.83		130,670.50	基準 47,191.93 276.89%

■設置基準で求められる校地校舎面積に対し、校地は3.6倍、校舎は2.8倍の面積を保有している。

(8) 学生納付金に関する情報

(2025 年 4 月)

区 分	入学金 ※	授業料 (年額)	教育充実費 (年額)
学部学生	250,000 円	800,000 円	350,000 円
大学院学生	250,000 円	500,000 円	150,000 円
短期大学部学生	250,000 円	770,000 円	300,000 円

※ 本学学部から本学大学院博士前期課程に入学する者の入学金は 150,000 円。

※ 本学短期大学部からの 3 年次編入学学生の入学金は 150,000 円。

<https://www.kansaigaidai.ac.jp/envision/exam/tuition/>

(9) 学生支援と奨学金に関する情報

本学では、学生の修学支援を行うため、支援組織および本学独自の奨学金制度を整備し、学生の修学支援を行っている。

<学生支援組織>

	組 織 名	機 能
就職・進学支援	キャリアセンター	学生の就職（進路）指導、求人検索ナビ、就職情報提供、各種就職セミナー・説明会開催、企業情報収集など
修学・履修支援	教務部	教育課程、履修指導の支援、入学・休学・留学・退学・卒業等の学生の身分、試験および成績、教務関係諸証明など
	国際交流部	留学に関する相談、留学派遣、留学生の受入支援、留学中の学生の相談、セミナーハウスの使用管理など
	アジアセンター	アジアの言語や文化に関する教育や人的交流等の企画・推進など
	図書館学術情報センター	教育等に必要な学術情報の提供、ラーニングコモンズ運営他
	教職教育センター	本学の教職課程履修者を中心に教員養成に関わる支援
学生・経済支援、 保健・衛生・メンタル等	学生部	学生の生活指導、課外活動、学生相談、学生関係諸証明、学内施設の使用運営、学生マンションの紹介、学費の延納・分納、各種奨学金の取扱いなど
	学生相談室	専門の職員を配し、カウンセラーや心理学担当の教員を委嘱し、精神的ケアを含めた学生生活全般にわたる支援など
	庶務部	学内警備、災害防止、学内整備、学生納付金の収納など

<奨学金>

①関西外大独自の奨学金

奨学金名	種類	支給内容・要件
関西外国語大学 グローバル人材育成特待生奨学金	給付	年間授業料の全額 学業・人物ともに優れ、入学試験の成績が上位の者
関西外国語大学 谷本入学時支援奨学金	給付	入学金・授業料等（春学期授業料、春学期教育充実費）の半額 優秀な成績で合格し入学時の費用を減免する支援が必要と認定される者
関西外国語大学 同窓会奨学金	給付	年間 36 万円 学業・人物ともに優れ、経済的な理由で修学が困難な者
関西外国語大学 谷本学業継続緊急支援奨学金	給付	年間授業料・教育充実費の半額 学業・人物ともに優れ、家計の著しい急変などにより教育上経済的な支援が必要と認められる者
関西外国語大学 スポーツ活動振興奨学金	減免	選考要領に基づき競技実績に応じて給付 特技 S 方式・A 方式により選抜された新入生で、高等学校等で卓越した競技実績のある者等
関西外国語大学 課外活動支援奨学金	給付	必要経費の一部または全部 対外試合において本学の名誉を高めた者あるいは団体
関西外国語大学 谷本国際交流奨学金（※）	給付 減免	フルスカラーシップ（留学先大学授業料・住居費・食費） スカラシップ（留学先大学授業料） 成績優秀な本学派遣留学生で選考試験合格者 学内成績などの基準を満たした短期留学参加の学生
関西外国語大学 荒川化学・戸毛敏美奨学金	給付	年間 20 万円 学業・人物ともに優れている中国語履修者で経済的困窮者
英語国際学部 アジア諸国国際学生奨学金	給付	年間授業料の半額相当額 アジア諸国の提携校からの推薦を受け、学業成績、人物ともに優れ、学業を奨励するに足りる者
大学院 アジア諸国国際学生奨学金	給付	年間授業料の半額相当額 アジア諸国の提携校からの推薦を受け、学業成績、人物ともに優れ、学業を奨励するに足りる者
大学院 谷本高度専門職業人育成奨学金	給付	本学の入学金、入学年度の授業料、教育充実費の半額 経済的支援を必要とする別に定める家計基準を満たす者
関西外国語大学 谷本災害給付奨学金	減免	災害の内容により入学金、授業料を減免 本学が奨学金の適用を指定する災害において、経済的理由により修学に困難があると認められる者

（※）関西外国語大学 谷本国際交流奨学金

<https://www.kansaigaidai.ac.jp/international/scholarship/>

②独立行政法人 日本学生支援機構（貸与・給与）

<給付について>

2020 年 4 月から始まった「高等教育修学支援新制度」の一環として返還不要の給付型奨学金があり、対象者は授業料等の減免を受けることができる。

<貸与について>

第一種奨学金（無利子）、第二種奨学金（有利子）の 2 種類あり。

③その他奨学金

地方公共団体、民間の育英団体による各種奨学金のうち、本学に推薦依頼があるものを取扱っている。

<https://www.kansaigaidai.ac.jp/campuslife/scholarship/>

3. 特色のある取組の概要

1. 新たなプロジェクトの始動

(1) 2025 年 4 月「登録日本語教員養成機関」始動（文部科学省認定）

2024 年 4 月、「登録日本語教員」という新しい国家資格が誕生。本学は、登録日本語教員養成機関として登録され、これまで数多くの日本語教員を輩出してきた本学の教育プログラムを拡充し、高度な英語運用能力と日本語の専門知識を併せ持つ日本語教員を養成する。

課程名：日本語教員養成課程（国際日本学科、アジア共創学科）

(2) 2025 年 4 月「新たな教職課程」始動（文部科学省認定）

文部科学省認定の新たな教職課程として、国際日本学科に「中学校および高等学校教諭一種免許状（国語）」課程を開設。本学科では、中学校・高等学校教諭一種免許状（国語）の取得も可能。グローバル化する教育現場に求められる日本語・英語の運用能力、さらに国際感覚を備えた教員を育成する。

免許種：中学校教諭一種免許状（国語）、高等学校教諭一種免許状（国語）

設置学部・学科：外国語学部国際日本学科

(3) 2025 年 4 月 USCPA 取得を支援する「USCPA Pathway Program」開設

教育内容の充実と質の向上に資する取組として、国際通用性の高い USCPA 取得を支援する「USCPA Pathway Program」を開設。USCPA（U.S. Certified Public Accountant）とは、米国各州が認定する公認会計士の資格で、本学の USCPA Pathway Program では、資格試験やライセンス申請に必要な授業を充実した内容で展開し、在学中に資格試験合格をめざす。

(4) 2025 年 4 月「学部・大学院修士 5 年教育課程」スタート

2024 年に学部 3 年生を対象に履修者を募集し、2025 年度からスタートする新プログラム。本プログラムにおいては、学部 4 年次に、大学院博士前期課程の授業科目を科目等履修生として履修し（各学期上限 10 単位）、5 年間で学士と修士の学位取得を目指す。

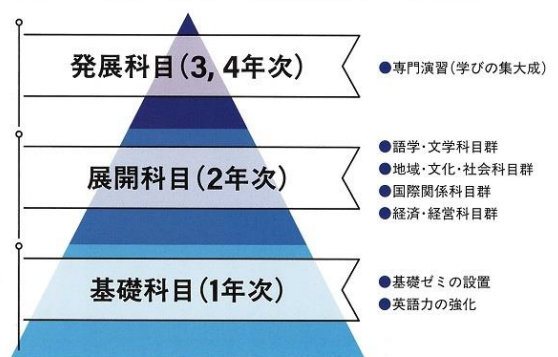
(5) 英語国際学部英語国際学科のカリキュラムを 2026 年度に一新

英語国際学部英語国際学科のカリキュラムを 2026 年度に一新し、より専門性の高い学問分野を体系的に学べるように、「国際関係学専攻」と「グローバル・コミュニケーション学専攻」の 2 つの専攻を設ける。2024 年度より準備を開始。



(6) 外国語学部英米語学科、スペイン語学科のカリキュラムを 2026 年度に一新

外国語学部の英米語学科とスペイン語学科のカリキュラムを 2026 年度に一新する。現在の 3 コース制を廃止し、「基礎」「展開」「発展」と科目を体系的に配置した積み上げ方式となり、「出口」をより一層重視したカリキュラムになる。2024 年度より準備を開始。



2. 国際交流に関する取組

(1) 協定重点校との新たな取組み

2025 年 3 月末の単位互換協定大学は、55 カ国・地域の 415 大学。

国・地域別のトップ 5 は、アメリカ 192 校、カナダ 38 校、中国 24 校、オーストラリア 18 校、韓国 15 校となっている。協定重点校との関係強化を図るため、2024 年度はニューヨーク州立大学オルバニー校、マウントユニオン大学、ベロイト大学等を訪問した。

(2) 留学の実績

2024 年度は 1,061 人を派遣（短期派遣 763 人、長期派遣 298 人）。特に本学と留学先大学の 2 つの学位を取得するダブル・ディグリー生を 47 人派遣した。また海外からの留学生は 1,000 人を受入れ（うち約 60%が北米からの留学生）。

(3) 新たな留学プログラム

USCPA 留学を新設。本学の USCPA Pathway Program 参加者をアメリカの協定大学へ 1 年間派遣。留学先大学では会計学やビジネス関連科目を履修し、加えてグローバル人材としてのジェネリックスキル修得をめざす。

特徴的な語学留学プログラム（語学留学+SDGs）も継続実施（ニューヨーク州立大学オルバニー校、クイーンズランド工科大学）。ウォータールー大学、アリゾナ州立大学と新規プログラムの立ち上げも交渉中。

3. 教育活動に関する取組

(1) FD 活動（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

本学では、授業の内容および方法の改善を図るための組織的な研修、研究を実施するために FD 委員会を設置し、当該委員会を中心にさまざまな活動を行っている。また、これらの成果については、『FD 活動年報』を年 1 回刊行し周知している。

<2024 年度実施>

- ・ 授業公開、
- ・ FD 講演会、
- ・ 授業実践研究フォーラムの開催
- ・ K. G. C. ベーシックス FD 研修会を実施、
- ・ 授業評価

4. 研究活動にかかる取組

(1) 科学研究費助成事業

本学では、科学研究費小委員会を設けて、申請書作成にかかるセミナーなどの取組を実施している。2024年度科学研究費助成事業（補助金・基金）においては、大学、短期大学部合わせ40件が採択された。

[科学研究費助成事業採択件数・受入金額の推移]

	大 学		短期大学部	
	採択件数	受入金額	採択件数	受入金額
2014（平26）年度	33件	47,450千円	3件	2,990千円
2015（平27）年度	34件	46,930千円	2件	1,560千円
2016（平28）年度	38件	46,300千円	4件	3,510千円
2017（平29）年度	33件	28,730千円	3件	1,710千円
2018（平30）年度	33件	32,500千円	5件	6,110千円
2019（令元）年度	39件	38,870千円	5件	4,550千円
2020（令2）年度	40件	40,820千円	7件	7,800千円
2021（令3）年度	45件	43,420千円	5件	3,510千円
2022（令4）年度	43件	38,480千円	4件	2,860千円
2023（令5）年度	40件	34,450千円	4件	2,210千円
2024（令6）年度	36件	43,810千円	4件	5,460千円

(2) 研究成果の公表等

教員の研究成果を公表するため、『関西外国語大学研究論集』を刊行している。この『研究論集』も1956年の刊行以来、121号を発刊するに至った。

また、本学が設置している国際文化研究所、人権教育思想研究所、イベロアメリカ研究センターにおいても、当該研究所・センターにおける研究成果を刊行物として発行するなど、本学における研究活動の成果を積極的に公表している。

[研究成果の公表媒体・発行状況]

研究所・センターなど	研究成果の公表媒体・発行状況
論集委員会	「研究論集」号（120）、号（121）
国際文化研究所	「Newsletter」号（15）
人権教育思想研究所	「人権を考える」号（28）
イベロアメリカ研究センター	「イベロアメリカ研究センター・ニューズレター」号（14）

5. 職員の資質向上・職能開発に関する取組

(1) SD活動

本学では、教職員が一体となって教育研究活動の適切かつ効果的な運営を図るため、スタッフ・ディベロップメント（SD）委員会が主体となり、教職協働を促進するための関西外国語大学SD体系にもとづき、組織的・体系的な研修その他必要な取組を企画することにより、教職員に求められる知識・技能の育成および向上に取り組んでいる。

＜2024年度実施＞

- ・テーマ別研修（教職員）
- ・外部講師による研修（教職員）
- ・昇任者研修（職員）
- ・若手職員育成研修（職員）
- ・職員向けSD授業参観（職員）
- ・オンデマンド研修（教職員）
- ・研究倫理観養成研修（教員）
- ・自校教育研修＜短期大学部授業＞等

6. 社会貢献・連携活動に関する取組

(1) 公開講座等

① 国際文化研究所（IRI）主催の公開講座等

- ・英語劇「ロミオとジュリエット」
- ・IRI 連続公開講座「流転の冒険者たち：アフリカの妖術と現代」
- ・IRI 公開シンポジウム「阪神・淡路大震災 30 年と次世代の多文化共生」等

② イベロアメリカ研究センター主催の公開講座等

- ・「魔術的レアリズムの国、南米コロンビアの魅力を知る」開催
- ・フアン・カミロ・ゴメス氏（駐日コロンビア大使館商務参事官）
- ・寺澤辰麿氏（元駐コロンビア特命全権大使、日本コロンビア友好協会会長）等

(2) 地域社会および産官学間の連携活動

枚方市と市内5大学は「学園都市ひらかた推進協議会」として諸事業を実施している。

＜2024年度実施＞

- ・こども大学探検隊
- ・ひらかた市民大学
- ・大学生のインターンシップ実習等



7. トピックス

(1) 菊池清明大学学長、谷本和子短期大学部学長が就任

2024 年 12 月 21 日開催の理事会で選任された菊池清明大学学長、谷本和子短期大学部学長が、4 月 1 日付で就任した。学長の任期は 2027 年 3 月までの 2 年間となる。



菊池清明大学学長



谷本和子短期大学部学長

(2) 菅野和夫理事が 2024 年度の文化功労者に選出

本学理事の菅野和夫（すげの・かずお）氏が 2024 年度の文化功労者に選出された。

菅野氏は、2018 年 10 月より理事に選任。専門は労働法学。比較法研究の蓄積の上に、法律学としての労働法学を確立するのに貢献したことなどが評価された。

菅野氏は、1966 年東京大学法学部卒業。東京大学大学院法学政治学研究科長・東京大学法学部長・比較法政国際センター長、国際労働法社会保障法学会会長、労働政策研究・研修機構理事長などを歴任。東京大学名誉教授。日本学士院会員。



(3) 谷本和子短期大学部学長に米国・モーニングサイド大学から名誉博士号授与

谷本和子短期大学部学長に米国・モーニングサイド大学から、「谷本学長の長年にわたる国際交流の実績とグローバル人材育成に向けた教育の実践」が高く評価され、名誉博士号が授与された。モーニングサイド大学は 1894 年に創立された、米国アイオワ州にある私立のリベラルアーツカレッジ。関西外大とは 1980 年に交換協定を結び、44 年間にわたって交流を重ねている。

授与式は 5 月 11 日、同大学の第 126 回 学位授与式で行われ、谷本学長はそのスピーチの中で、両校が 1980 年より続けてきた国際交流・協定の歴史に触れ、教育を通じた異文化理解と世界平和の推進への協力を述べるとともに、「A I やデジタル化が進む現代社会においては、文化の架け橋となる柔軟で持続可能な人材育成が重要」と述べると共に、『『共生と調和』の精神のもとで、今後もグローバルな教育連携を深め、持続可能な社会の実現に貢献していきたい』との決意を表明した。



4. ガバナンス推進体制の強化

1. 取組の概要

学校法人関西外国語大学は、法人運営における透明性、公正性および説明責任の更なる向上を目的として、ガバナンスの推進および体制の強化に取り組んだ。

理事会においては、議事運営の適正化および理事選任手続の明確化を図るとともに、理事の役割および責務に関する認識の共有を進め、審議・決議プロセスの透明性向上に努めた。

評議員会においては、重要事項に関する意見具申機能を充実させるとともに、経営監視機能の強化を図った。

監事については、内部統制システムに対する監査体制を強化し、会計監査人および内部監査部門との連携を深めることにより、監査の実効性を高めた。

これらの取組状況については、ガバナンスコードに基づく自己点検・評価を実施し、理事会の実効性、評議員会および監事の機能、内部統制システムの運用状況を総合的に検証した。点検・評価の結果、概ね適正に機能していることを確認するとともに、理事および評議員の更なるガバナンス意識向上、情報開示の充実等、継続的改善の必要性を認識した。

今後も、建学の理念である「国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材の育成」および「公正な世界観に基づき、時代と社会の要請に応えていく実学」の実現に向け、ガバナンス体制の継続的な強化および運営の質的向上を図る。

2. 改正私立学校法への対応

『寄附行為の改定』

2025年4月施行の改正私立学校法に対応するため、本学は、法令遵守体制の強化とガバナンス機能の向上を目的として寄附行為の改定を行い、2024年8月14日付で文部科学大臣の認可を受けた。今回の改定では、理事会における重要事項の審議手続の明確化、評議員会に付議すべき事項の整理・拡充、監事による業務監査の独立性の確保等を中心に、ガバナンス体制全体の見直しを図った。

本学は、建学の理念である「国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材の育成」と「公正な世界観に基づき、時代と社会の要請に応えていく実学」の実現に向けて、更なる健全性・透明性を備えた持続的経営を推進していく。

学校法人関西外国語大学 寄附行為

<https://www.kansaiaidai.ac.jp/info/disclosure/>

3. 組織運営

『理事会』

理事会は、本学の基本的な方針や施策を決定する最高議決機関である。

2024年度においては10回開催し、法人の業務執行および財務状況に関する重要事項について慎重なる審議を重ね、適切なる決議を行った。

特に、ガバナンス体制の一層の強化、内部統制システムの整備、新学科設置等の重要案件について審議決定をなし、議事録を整備して理事の責務および役割の明確化を図った。

理事は、法人の目的達成に向け、建学の理念である「国際社会に貢献する豊かな教養を備え

た人材の育成」と「公正な世界観に基づき、時代と社会の要請に応じていく実学」の実現を念頭に、善管注意義務および忠実義務を尽くし、法人運営に主体的に関与した。これにより、法人運営の透明性、公正性および健全性の確保に努めた。

『 評議員会 』

評議員会は、2024 年度において 4 回開催し、諮問機関として本学の運営状況を監視すると共に、理事会における業務執行状況、事業計画および予算案、事業報告および決算報告等の事項について報告を受け、これに対して適切なる意見の表明を行った。また、理事および監事の選任並びに解任に関する議案について、改正私立学校法の趣旨に則り、その権限を適正に行使し、法人の透明性および信頼性の向上に資する役割を果たした。

さらに、評議員は、法人の公共性および社会的責任を深く自覚し、重要事項に関して理事会に対して意見具申を行う権限を有することを踏まえ、中立公正な立場から意見を述べ、法人の健全な発展と社会的信頼の確保に努めた。

『 監事 』

監事は、学校法人の管理運営を適正に行うために、極めて重要な役割を果たす。

本学では、常勤監事 1 名、非常勤監事 1 名の計 2 名を置き、法人の業務監査、法人の財産の状況を監査、法人の業務または財産の状況について、毎会計年度、監査報告書を作成し、当該会計年度終了後 2 ヶ月以内に理事会および評議員会に提出すると共に、監査の充実を図るため、常勤監事は、学内諸会議へ出席し学校法人運営の状況についての様々な情報を得ている。

監事は、法人の業務執行および財産の管理状況について、適時適切なる監査を実施し、理事会および評議員会に出席して必要なる意見を述べた。2024 年度において、法人の業務執行および財産の状況について厳正なる監査を実施した。

業務監査にあたっては、理事会および評議員会の議事録、内部規程、事業計画および実施状況並びに各部門の管理運営状況を精査し、法令および定款に違反する事実、または著しく不当な事項は認められなかった。また、会計監査においては、計算書類および関係帳簿書類を精査し、これらが適正に作成され、法人の財務状況を正確に表示していることを確認した。

『 教授会 』

本学では、大学設置基準第 15 条および本学学則第 10 条・第 11 条の規定に基づき、学長の統括のもと、各学部および大学院研究科に教授会を設置している。

教授会は、教育研究に関する重要事項について審議を行い、学長に対して専門的見地から意見を述べることを任務とする機関であり、学生の入学、卒業、学位の授与等の重要事項に関して、学長が必要と認める場合には、意思決定に先立ちその意見を聴取することとされている。また、学長がつかさどる教育研究に関するその他の事項についても、教授会は審議および意見具申を行うことができる。

教授会は、原則月 1 回開催し、必要に応じて臨時に開催することができる。また、案件に応じて、関係する専門委員会等にて事前審議が行われた上で、教員役職者会の議を経て教授会上程される運用体制を整備している。

教授会の構成は、学長、副学長および教授によって組織されるが、必要に応じて准教授、助教、講師、助手その他の職員を加えることができる。教授会には理事長、監事のほか、各行政部門からも関係職員が出席し、教学と法人運営の両面からの意見交換と連携を図っている。

さらに、教授会の開催に合わせて、全教員を対象とした「教員連絡会議」も併せて開催し、教学に関する重要情報の共有および共通理解の形成を推進している。

『部課長会』

本学では、法人全体の統括を担う理事長の指導の下、学長との連携を図りながら、教学・法人業務の実務的連携と情報共有を目的として「部課長会」を定期的に開催している。

本会議は、理事長、学長、学長補佐、監事、ならびに事務組織の部課長で構成され、教育・研究・学生支援・財務・国際交流・広報・施設管理など、大学運営に関わる重要事項を広く横断的に取扱う。議事録は総務部が作成し、学内関係者に共有されている。

部課長会は、原則月 1 回開催し、以下の事項について報告・協議・共有を行っている。

＜協議内容の例＞

- ・教育・研究活動の実施状況と改善方策の共有
- ・各部局における業務進捗、行事予定、学生支援体制などの確認
- ・内部統制、情報セキュリティ、危機管理対応等の組織横断課題

本学では、部課長会を法人・教学運営の橋渡しを担うガバナンス上の重要な会議体として位置づけており、迅速かつ一貫性ある意思決定体制の構築、中間管理職の自律的運営力の強化、部局間の協調的マネジメントを推進するための中核的な仕組みとなっている。

4. 内部統制システムの整備と運用

2025 年 4 月施行の改正私立学校法に基づき、業務の適正な遂行と、ガバナンス推進体制の強化を図ることを目的に「内部統制システム整備基本方針」を策定し、2025 年 1 月 18 日開催の理事会において正式に承認され、全学的な整備を進めている。

本学の内部統制は、「経営に関する管理体制」、「リスク管理に関する体制」、「コンプライアンスに関する管理体制」、「監査環境の整備（監事の監査業務の適正性を確保するための体制）」の 4 本柱から構成されており、各部門における実施体制を明確化した。

本学の内部統制システムは、グローバル社会にふさわしいガバナンスの体现を重視して構築されており、教育と研究の自由を尊重しつつ、責任ある法人運営との両立を追求している。

なお、内部統制システム整備基本方針の策定に伴い、全学的なリスク管理に係る企画、立案および実施に関する事項の審議を目的として、リスク管理委員会を置くと共に、従来の規程に加え、以下の規程の制定または改定を行った。

＜整備規程＞

- ・学校法人関西外国語大学 リスク管理規程（制定）
- ・学校法人関西外国語大学 コンプライアンスの確保に関する規程（制定）
- ・学校法人関西外国語大学 公益通報に関する規程（一部改正）

5. ガバナンス・コードの点検と実施状況

本学は、ガバナンス・コードを法人の健全な運営を支える行動規範と位置づけ、「公正な世界観に基づき、時代と社会の要請に応えていく実学」という建学の理念に則り、説明責任と透明性を確保しつつ、主体的な改善と点検を重ねている。自己点検・評価は、ガバナンス・コードに沿った全項目について年 1 回実施し、その結果は理事会に報告された上で、ホームページで掲載しており、透明性の高い情報提供を徹底している。

＜点検項目＞

基本原則 1 自主性・自律性の確保（特色ある運営）

原則 1－1 建学の精神等の基本理念に基づく教学運営体制の確立

原則 1－2 中期的な計画の策定方針の明確化および進捗管理

基本原則 2 公共性・社会性の確保（社会貢献）

- 原則 2－1 教育研究活動の成果の社会への還元
- 原則 2－2 多様性への対応
- 基本原則 3 安定性・継続性の確保（学校法人運営の基本）
 - 原則 3－1 理事会の構成・運営方針の明確化
 - 原則 3－2 監査機能の強化および監事機能の実質化
 - 原則 3－3 評議員会の構成・運営方針の明確化
 - 原則 3－4 危機管理体制の確立
- 基本原則 4 透明性・信頼性の確保（情報公開）
 - 原則 4－1 教育研究・経営に係る情報公開

学校法人関西外国語大学 ガバナンス・コードおよび実施状況点検表

<https://www.kansaiaidai.ac.jp/info/principle/>

6. 大学評価

大学（短期大学部を含む）は、2025 年 4 月施行の改正私立学校法における「自律的な内部質保証体制の整備」および「説明責任の履行による教育の質の継続的向上」の要請を踏まえ、日常的な自己点検・評価を基盤とした質的改善の取組を継続的かつ体系的に推進している。

とりわけ、教育・学習活動ならびに学生支援、運営・財務、施設整備等の全学的機能において、一定の水準と透明性を確保するため、「学内の責任に基づく説明・証明のプロセス」としての内部質保証システムの充実が求められている。2024 年度においては、「学校法人関西外国語大学内部質保証推進規程」（2020 年 10 月制定）に基づき、大学および短期大学部において、自己点検・評価委員会を組織するとともに、学内外の識見を有する有識者から成る大学評価委員会を設置し、客観性と妥当性を担保しながら、評価体制の高度化と制度的信頼性の強化に努めている。

また、一定期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた認証評価機関（公益財団法人大学基準協会・短期大学基準協会）による認証評価を受審しており、教育研究の実施状況、運営管理体制、施設・設備の整備状況等を含めた総合的観点から、「適合（または適格）」との評価を取得している。現行の評価の有効期間は、2027 年 3 月 31 日までである。

本学は今後も、内部質保証の枠組みを一層強化するとともに、教育の質保証を通じて社会的信頼の向上を図り、説明責任を全うする開かれた大学づくりに取り組んでいく。

7. 「私大協役員賠償責任保険」に加入、更新

私立学校法の 2019 年改正 44 条の 3 により、役員の第三者に対する損害賠償責任が規定されたことに伴い、学校法人と保険会社とが役員を被保険者とする保険契約を締結し、役員がその職務に関し責任を負うことまたは当該責任の追及にかかる請求を受けることによって生じる損害に対して補償することが可能となり、2020 年 2 月開催理事会の決議により「私大協役員賠償責任保険」に加入し、1 年毎に更新していたところ、私立学校法の 2023 年改正 89 条に伴い、2025 年 1 月 18 日開催理事会の決議によりその更新を議決した。

- ① 団体契約者：日本私立大学協会
- ② 被保険者：（記名法人）学校法人関西外国語大学、（個人被保険者）理事・監事
- ③ 補償内容：役員に関する法律上の損害賠償金、争訟費用等
- ④ 保険期間中総支払限度額：5 億円

8. 情報公開

本学は、2025 年 4 月に施行された改正私立学校法および私立大学ガバナンス・コードの理念を真摯に受け止め、社会に対する説明責任の徹底、運営の透明性の確保、ならびに情報発信の信頼性向上を重要な責務と位置付けている。これに基づき、法令の趣旨を踏まえた情報公開体制を整備し、迅速かつ的確に重要情報を社会へ開示する仕組みの高度化に取り組んでいる。

情報公開の対象は、私立学校法および学校教育法令上公開が義務付けられている寄附行為、事業報告書（役員等名簿を含む。）、貸借対照表・収支計算書等の財務情報、監査報告書、役員等報酬規程および自己点検・評価報告書等の教育研究情報のほか、本学独自の教育・研究・社会貢献活動に関する取り組み等についても、積極的に公開している。

公開手段については、法人および大学のインターネット（公式 Web サイト）の利用を中心として、閲覧性・可読性・検索性に配慮した構成を採用することで、利害関係者をはじめとする広範なステークホルダーの利便性を高め、開かれた大学経営を実現している。



Ⅲ. 財務の概要

1. 財産目録

(単位：百万円)

科 目	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
一 資産					
(一) 基本財産	97,202	95,548	93,560	92,175	90,482
(1) 校地	(414,740.78 m ²) 45,191	(414,740.78 m ²) 45,191	(414,740.78 m ²) 45,191	(414,740.78 m ²) 45,191	(414,616.09 m ²) 45,175
(2) 校舎	(217,753.52 m ²) 44,914	(217,753.52 m ²) 43,540	(217,753.52 m ²) 41,997	(215,941.05 m ²) 40,671	(215,838.74 m ²) 39,170
(3) 構築物	(687 点) 2,658	(692 点) 2,370	(694 点) 2,076	(700 点) 2,061	(708 点) 1,761
(4) 図書	(576,824 冊) 2,558	(584,607 冊) 2,625	(586,929 冊) 2,639	(588,486 冊) 2,648	(590,820 冊) 2,661
(5) 教具・校具・備品	(34,973 点) 1,516	(34,964 点) 1,434	(35,289 点) 1,206	(35,164 点) 1,195	(35,424 点) 1,271
(6) 建設仮勘定	0	0	0	0	0
(7) その他の基本財産	365	388	451	409	444
(二) 運用財産	132,069	139,457	146,065	152,111	158,961
(1) 預金現金	28,179	29,509	30,553	31,018	32,234
(2) 積立金	103,677	109,626	115,250	120,918	126,503
(3) その他の運用財産	213	322	262	175	224
資産総額	229,271	235,005	239,625	244,286	249,443
二 負債					
(1) 固定負債	964	965	980	1,000	1,006
① 長期借入金	0	0	0	0	0
② 退職給与引当金	964	965	980	1,000	1,006
(2) 流動負債	9,364	9,045	8,941	9,105	9,151
① 短期借入金	0	0	0	0	0
② 前受金	8,696	8,425	8,186	8,301	8,540
③ その他の流動負債	668	620	755	804	611
負債総額	10,328	10,010	9,921	10,105	10,157
正味財産 (資産総額－負債総額)	218,942	224,995	229,704	234,181	239,286

2. 貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部					
科 目	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
固定資産	200,893	205,190	208,822	213,104	216,995
有形固定資産	96,837	95,160	93,109	91,766	90,038
土地	45,191	45,191	45,191	45,191	45,175
建物	44,914	43,540	41,997	40,671	39,170
構築物	2,658	2,370	2,076	2,061	1,761
教育研究用機器備品	1,062	1,010	833	817	938
その他の有形固定資産	3,011	3,049	3,012	3,026	2,994
特定資産	103,677	109,626	115,250	120,918	126,503
第2号基本金引当特定資産	33,917	38,917	43,917	48,917	53,916
第3号基本金引当特定資産	48,285	49,059	49,668	50,316	50,896
第4号基本金引当特定資産	661	835	835	835	835
減価償却引当特定資産	19,850	19,850	19,850	19,850	19,850
その他特定資産	964	965	980	1,000	1,006
その他の固定資産	380	404	463	420	454
ソフトウェア	353	376	439	398	403
その他固定資産	27	28	24	22	51
流動資産	28,378	29,815	30,803	31,182	32,448
資産の部合計	229,271	235,005	239,625	244,286	249,443
負債の部					
科 目	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
固定負債	964	965	980	1,000	1,006
長期借入金	0	0	0	0	0
退職給与引当金	964	965	980	1,000	1,006
流動負債	9,364	9,045	8,941	9,105	9,151
前受金	8,697	8,425	8,186	8,301	8,540
その他の流動負債	668	620	755	804	611
負債の部合計	10,328	10,010	9,921	10,105	10,157

純資産の部					
科 目	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
基本金	218,886	224,785	230,693	236,782	242,223
第 1 号基本金	136,024	135,974	136,273	136,714	136,576
第 2 号基本金	33,917	38,917	43,917	48,917	53,916
第 3 号基本金	48,285	49,059	49,668	50,316	50,896
第 4 号基本金	661	835	835	835	835
繰越収支差額	56	210	△989	△2,601	△2,937
翌年度繰越収支差額	56	210	△989	△2,601	△2,937
純資産の部合計	218,942	224,995	229,704	234,181	239,286
負債および純資産の部合計	229,271	235,005	239,625	244,286	249,443

3. 収支計算書

(1) 資金収支計算書

(単位：百万円)

収入の部					
科 目	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
学生生徒等納付金収入	14,326	14,354	14,012	13,761	13,991
手数料収入	408	338	319	319	386
寄付金収入	22	27	26	27	32
補助金収入	1,485	1,842	1,756	1,780	1,820
資産売却収入	11	0	3	2	8
付随事業・収益事業収入	0	1	0	0	0
受取利息・配当金収入	768	845	804	942	965
雑収入	251	331	467	376	486
借入金収入	0	0	0	0	0
前受金収入	8,696	8,425	8,186	8,301	8,540
その他の収入	594	594	814	766	563
資金収入調整勘定	△8,657	△8,885	△8,606	△8,267	△8,452
前年度繰越支払資金	27,232	28,179	29,509	30,553	31,018
収入の部計	45,136	46,051	47,292	48,560	49,357
支出の部					
科 目	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
人件費支出	4,426	4,622	4,650	4,486	4,533
教育研究経費支出	4,310	3,482	4,085	4,156	3,957
管理経費支出	1,431	1,270	1,519	1,575	1,641
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	151	257	95	692	142
設備関係支出	330	400	324	418	609
資産運用支出	5,671	5,949	5,624	5,668	5,585
その他の支出	885	786	688	836	867
資金支出調整勘定	△247	△224	△246	△289	△211
次年度繰越支払資金	28,179	29,509	30,553	31,018	32,234
支出の部合計	45,136	46,051	47,292	48,560	49,357

(2) 事業活動収支計算書

(単位：百万円)

大項目	科 目	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
教育活動 収支	学 生 生 徒 等 納 付 金	14,326	14,354	14,012	13,761	13,991
	手 数 料	408	338	319	319	386
	寄 付 金	22	27	26	27	32
	経 常 費 等 補 助 金	1,472	1,827	1,756	1,780	1,800
	付 随 事 業 収 入	0	1	0	0	0
	雑 収 入	251	331	467	376	486
	教 育 活 動 収 入 計	16,479	16,878	16,581	16,263	16,695
	人 件 費	4,445	4,623	4,665	4,506	4,539
	教 育 研 究 経 費	5,963	5,128	5,731	5,756	5,618
	管 理 経 費	2,185	2,015	2,292	2,362	2,422
	教 育 活 動 支 出 計	12,592	11,766	12,688	12,624	12,579
	教育活動収支差額	3,886	5,112	3,892	3,639	4,116
教育活動 外収支	教育活動外収入計	768	845	804	942	965
	教育活動外支出計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額	768	845	804	942	965
経 常 収 支 差 額		5,402	4,016	5,648	4,581	5,081
特別収支	特 別 収 入 計	63	103	28	23	45
	特 別 支 出 計	70	7	15	127	21
	特 別 収 支 差 額	△7	96	13	△104	24
	(予 備 費)	0	0	0	0	0
	基本金組入前当年度収支差額	4,647	6,053	4,709	4,477	5,106
	基 本 金 組 入 額 合 計	△5,743	△5,948	△5,908	△6,089	△5,580
	当 年 度 収 支 差 額	△1,096	105	△1,199	△1,612	△474
	前年度繰越収支差額	1,152	56	210	△989	△2,601
	基 本 金 取 崩 額	0	49	0	0	138
	翌年度繰越収支差額	56	210	△989	△2,601	△2,937

(参考)

	事 業 活 動 収 入 計	17,309	17,826	17,413	17,228	17,705
	事 業 活 動 支 出 計	12,662	11,773	12,704	12,751	12,599

4. 財務比率の推移

(単位：％)

比率名	算 式	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	26.9	33.6	27.0	26.6	28.7
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入}}$	23.6	30.3	23.5	22.3	24.6
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	83.1	81.0	80.6	79.9	79.2
人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{経常収入}}$	25.8	26.1	26.8	26.1	25.7
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	34.6	28.9	33.0	33.4	31.8
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	12.7	11.4	13.2	13.7	13.7
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	303.0	329.6	344.5	342.4	354.6
負債比率	$\frac{\text{総 負 債}}{\text{自己資金 ※2}}$	4.6	4.5	4.3	4.2	4.2
自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総 資 金 ※3}}$	95.6	95.7	95.9	95.8	96.0
基本金比率	$\frac{\text{基 本 金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※1 経常収入＝教育活動収入＋教育活動外収入

※2 自己資金＝基本金＋当年度収支差額

※3 総 資 金＝負債＋基本金＋当年度収支差額

[参考] 学部・学科等の入学定員、学生数の状況

(2025年5月1日現在)

				入学定員	3 年 次 編入定員	収容定員 (a)	在籍者数 (b)	収容 定員比 (b/a)
大 学	大学院外国語学 研究科	博 士 前 期 課 程	英 語 学 専 攻	15	—	30	8	0.26
			言語文化専攻	20	—	40	36	0.90
		博 士 後 期 課 程	英 語 学 専 攻	3	—	9	3	0.33
			言語文化専攻	3	—	9	3	0.33
		大学院 計			41	—	88	50
	外国語学部	英 米 語 学 科		730	200	3,895	4,218	1.08
		スペイン語学科		250	20	1,040	1,074	1.03
		英語・デジタルコミュニケーション学科		200	—	600	693	1.15
		国際日本学科		200	—	400	441	1.10
		計		1,380	220	5,935	6,426	1.08
	英語国際学部	英語国際学科		500	75	2,750	3,013	1.09
		アジア共創学科		200	—	200	212	1.06
		計		700	75	2,950	3,225	1.09
	英語キャリア学部	英語キャリア学科		120	—	480	539	1.12
		英語キャリア学科小学校教員コース		50	—	180	156	0.86
		計		170	—	660	695	1.05
	国際共生学部 国際共生学科			70	30	270	260	0.96
	学 部 計			2,320	325	9,815	10,606	1.08
	大 学 合 計			2,361	325	9,903	10,656	1.07
	留 学 生 別 科			400	—	400	478	1.20
短期 大学部	英 米 語 学 科			500	—	1,050	1,127	1.07
	未来キャリア英語学科			100	—	250	189	0.75
	短 大 合 計			600	—	1,300	1,316	1.01
総 合 計				3,361	325	11,603	12,450	1.07

学校法人関西外国語大学

中宮キャンパス

〒573-1001

大阪府枚方市中宮東之町 16-1

<https://www.kansaigaidai.ac.jp>

電話 072-805-2801

御殿山キャンパス・グローバルタウン

〒573-1008

大阪府枚方市御殿山南町 6-1

<https://www.kansaigaidai.ac.jp>

電話 072-805-2701